

本人主体の支援について

山梨県障害福祉従事者スキルアップ研修

2025年2月27日（木）

山梨県立大学 大塚ゆかり

ソーシャルワークとは

- 社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと開放を促進する、**実践に基づいた専門職**であり学問である。
- **社会正義、人権、集団的責任及び多様性尊重**の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。
- ソーシャルワークの理論、社会科学、人文学、および地域・民族的固有の知を基盤として、ソーシャルワークは、**生活課題に取り組みウェルビーイングを高める**よう、人々**やささまざまな構造に働きかける**。

(ソーシャルワーク専門職のグローバル定義)

相談援助の理念

- 人権尊重 人権：人が生まれながらに持っているもの
- 社会正義 これでもいいの？と感じるセンス
- 自己決定 意思決定支援の重要性
- エンパワメント
お互いを認め、力を発揮する→権利擁護
- ストレングス視点 潜在的な力を発見する
- ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）
一人ひとりが認められ社会の構成員
- 権利擁護 ソーシャルワークの基盤

ケースワークの原則(バイステック)

- クライエントを個人として捉える
- クライエントの感情表現を大切にする
- 援助者は自分の感情を自覚し吟味する
- 受け止める
- クライエントを一方向的に非難しない
- クライエントの自己決定を促し尊重する
- 秘密を保持して信頼感を醸成する

ストレングス

- ①回復し生活を改善し質を高めることができる（可能性への信念）
- ②焦点は病理ではなく強みである（自分らしい生活を築く生活者）
- ③地域は資源のオアシスである（頼りにし合える地域力を開発、評価する）
- ④利用者は支援プログラムの監督者である
（利用者の願いと夢を理解して選択・決定に基づく本人主導）
- ⑤支援者と利用者の人間関係が根本であり本質である
（自分のことのように感じ、受け止め、共に挑戦する相互信頼のパートナー）
- ⑥仕事の場は地域である
（サービスは生活に属するもの。地域生活をおくる環境を共にして共に築く）

市民性を基本にして援助者の視点・専門職

パートナーシップ（対等な関係）とは
だれもが支え合う責任を分かち持つこと

- 願い、夢をかなえること
- お互いの人生経験を学ぶ
- 温かさ、気遣い、尊敬、楽しさ
- 信頼
- 安心して自由に選び行動をする機会を得て、自信を持つ

聴くということ

- ① 自分の価値観や信念をあてはめない
- ② 相手の希望、権利、価値観を尊重する
- ③ ありのまま受けとめる
- ④ 良い、悪い、～すべきなどという批判、説教はさける
- ⑤ 話の途中で割り込んだり、さえぎったいしない
- ⑥ 秘密を守る
- ⑦ 限界を認めて適切な専門家に紹介する
- ⑧ 法律的・倫理的・道徳上の責任と制限に従う地域社会の人生の知恵袋としての存在

こんな人にそばにいてほしい

- 自分の気持ちをわかってくれる人
- 引き出してくれる人
- 前向きに考えている人
- 明るい人
- 気持ちに寄り添い経験談も話してくれる人
- 器の大きい人
- 常識や礼儀をわきまえる人
- 柔軟性のある人
- 包容力のある人
- 約束を守る人
- 時には怒ってくれる人

体験してみましよう

- 話を聴くということ
- 沈黙という時間
- 相手の話をありのまま聴くことができますか
- 途中で割り込んでいませんか
- 問題を解決しようと躍起になっていませんか
- 相手に自分の意見を押し付けていませんか
- 誰の人生のことを話しているのでしょうか
- わかったつもりになっていませんか

理解してもらおうことを意識していますか

<はさみの法則>

は・・・はっきりと
さ・・・さいごまで
み・・・みじかく

優しい日本語より

環境がどのように影響を与えているか

- ①環境にはどのようなものがあるでしょうか。
- ②環境が選択・決定にどのような影響を与えているでしょうか。
- ③あなたの人生での選択・決定は、どのようにされたでしょうか。
- ④私たちが出会う人たちには、それぞれの人生があります。
その人たちは、どのような人生を歩んでいるでしょうか。

あなたはどんな人？

①いい感じの自分は？

②私ってどんな人？ ⇒ 日常生活でしていること

③調子を崩すきっかけは？

④自分の中にどのような変化が起こっている？



どのように対処しているでしょうか

★人も自分も大切にしましょう

皆さんと分かち合う時間をありがとうございました。

孤立せず、孤立させず共に歩もう。



たまには、のんびりひと休み。

